

保護者 アンケート結果

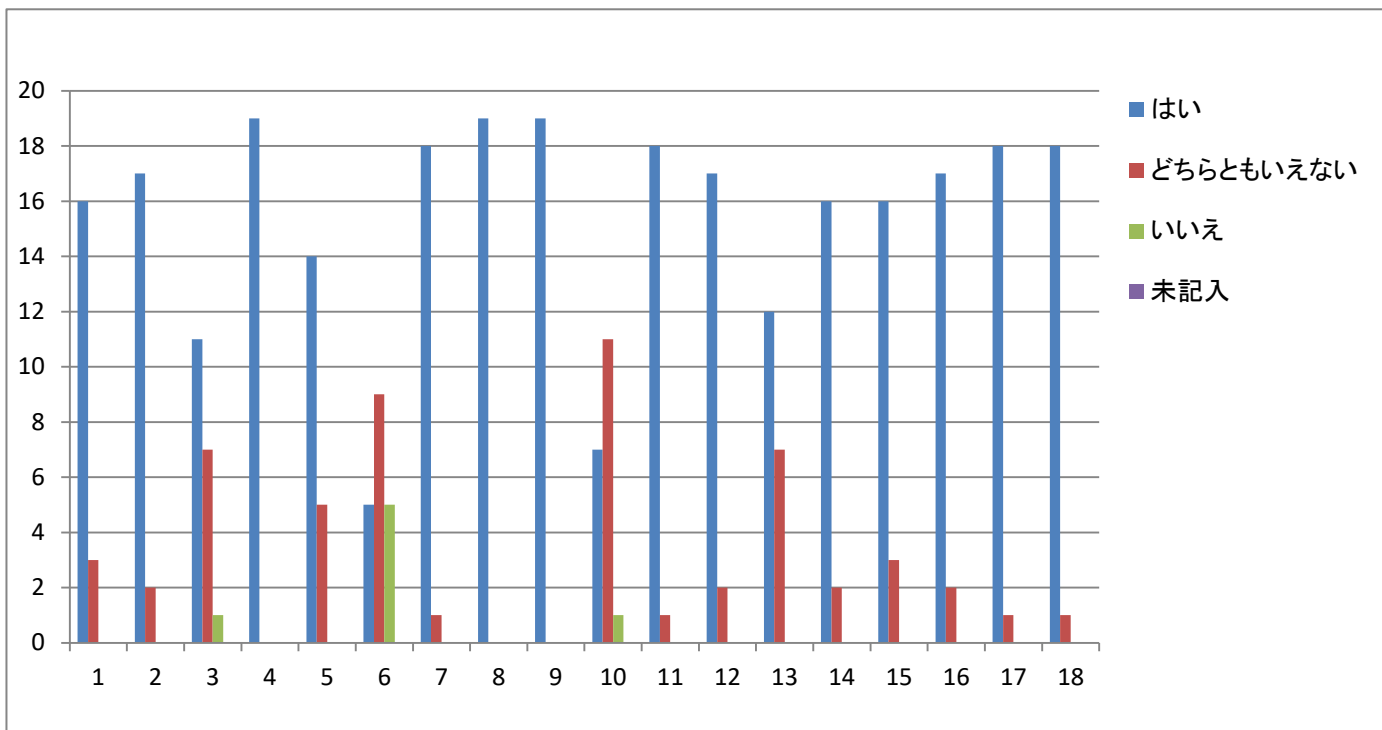
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	ご意見
環境・体制整備	① 子供の活動スペースが十分に確保されているか	16	3			・活動時、施設を見る機会があまりないのでわからないが、たぶん考慮してもらい戸外活動等、安全に過ごせるよう環境を設定してもらっていると思う。 ・部屋が分かれていてクールダウンしたり出来るスペースがある。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	2			・専門性のある職員は少ないと思われるが、知識のある職員がフォローしていると思う。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化が適切にされているか	11	7	1		・室内は配慮されていると思うが、事業所の入り口(玄関)は段差がある。
適切な支援の提供	④ 子供と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	19				・現状の状況を把握してこれからの支援内容がとても細かく作成されている。面談時の説明もわかりやすい。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14	5			・固定化したプログラムにより安心して過ごせている場合もあると思います。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいの無いこどもと活動する機会があるか	5	9	5		・まだ就学前なので放課後支援については不明です。 ・今はそれが必要な事だとは思っていません。 ・詳しくわかりません。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされているか	18	1			
	⑧ 日頃から子供の状況を保護者に伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解ができているか	19				・連絡ノートや送迎時職員より様子を詳しく説明してもらえるので共通理解ができています。・助言をしていただいたりと大変心強助かっている。 ・いつも詳しくお話して頂いています。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言などの支援が行われているか	19				・連絡ノートや送迎時職員より様子を詳しく説明してもらえるので共通理解ができています。・面談の回数が多くデイの様子やこれからの事など話し合いができる。大変助かる。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等により保護者同士の連携が支援されているか	7	11	1		・父母会について知りませんでした。
	⑪ 子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ、適切に対応しているか	18	1			

	⑫	子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	2			・細かい連絡等ノートに書いてもらえてありがたいです。その日にやっていた事を書いていただけていますが、本人がやってない事が書いてあった事が何度かありました。 ・連絡帳などで様子を伝えあっています。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子供や保護者に発信しているか	12	7			
	⑭	個人情報に充分注意しているか	16	2			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	3			・面談や保護者会などで説明とプリントを頂いています。 ・保護者会の時に説明をしていただきました。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	2			・様子のプリント(写真付き)を頂いています。 ・避難訓練を行った時の様子を写真と内容をのせたプリントを頂いています。
満足度	⑰	子供は通所を楽しみにしているか	18	1			・気が合う友達がありますし先生達とのコミュニケーションを取りながら楽しんでいきます。川遊びも好きです。 ・毎回「楽しかった」と帰宅してくれています。 ・場面の切り替えが難しい子供ですが、事業所に行けば楽しく遊ぶことが出来、機嫌よく帰っています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	18	1			・送迎の先生との会話に満足しています。(相談や助言などをしてもらっています。何でもない話で心が軽くなります) ・とても満足しています。 ・子供に合った支援を常に考えて頂いています。 ・毎回の利用を楽しみにしています。

□配布数・・・29

□回収数・・・19

□未回収・・・



### 改善点・改善目標

環境・体制整備	①	・今年、テラス部分を部屋に改築しスペースを広げました。現在、児童たちの憩いの場所として機能しています。
	②	・人員配置は規定数を守っています。・職員研修は年間職員研修計画にて全員研修へ参加できるよう計画します。
	③	・玄関はバリアフリーではありません。現在、常時車いす利用の児童の利用はありませんが、今後利用がある場合は改修の必要性が出てくると考えます。
適切な支援の提供	④	・好意的なご回答多数感謝申し上げます。今後も努力してまいります。
	⑤	・貴重なご意見有難うございました。・プログラムのマンネリ化を防ぐ手立てを今後も注意して、新たな試みをさらに加えてまいります。
	⑥	・課題として捉えます。児童館の催しへの参加を考えています。
保護者への説明等	⑦	・好意的なご回答多数感謝申し上げます。今後も努力してまいります。
	⑧	・好意的なご回答多数感謝申し上げます。今後も努力してまいります。
	⑨	・好意的なご回答多数感謝申し上げます。今後も努力してまいります。
	⑩	・現在、毎年開催の保護者会以外、保護者様交流の機会は無状態です。お祭り、勉強会等により集まる機会を検討しています。
	⑪	・好意的なご回答多数感謝申し上げます。今後も努力してまいります。
	⑫	・好意的なご回答多数感謝申し上げます。今後も努力してまいります。
	⑬	・今後も「ポコアポコ便り」により、皆様へ取組の様子をお知らせ致します。
	⑭	・個人情報保護を今後も遵守してまいります。
非常時等の対応	⑮	・緊急時マニュアルは事業所配備はもとより、事業所壁へマニュアルの掲示など、日頃より職員への周知徹底に努めています。緊急時に関する事柄について保護者の方々へのご説明は機会あるごとに(個別面談)等を通じてご説明させていただきます。
	⑯	・避難訓練は隔月で実施しています。今後も実施後は「避難訓練の様子」でご報告致します。
満足度	⑰	・好意的なご回答多数、感謝申し上げます。今後も努力してまいります。
	⑱	・好意的なご回答多数、感謝申し上げます。今後も努力してまいります。

事業者向け 自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	意見	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9				・広ければそれにこしたことはないが、現在のスペースはサポートがしやすい。	・適切である。
	2 職員の配置数は適切であるか	9					・職員定数は厳守している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配置が適切になされているか			9		・玄関はバリアフリーになっていない。	・玄関はバリアフリーではない。現在、常時車いす利用の児童の利用は無いが、今後利用がある場合は改修の必要性が出てくると考えている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9				・担当以外の支援計画と面談記録は全職員が目を通す。	・年二回の保護者面談(管理者・担当が出席)を実施。保護者と共にPDCAサイクル(目標設定・振り返り)を行っている。
	5 保護者等に向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9				・今までアンケートを実施したことがなかったので様々なご意見を頂き、日々夢中で業務にあたるなか、気が付かない所を教えて頂いた思い、とても参考になったとともに業務改善へ繋げたい。	・日々の保護者の意向把握は「連絡帳」にて行っている。今回のアンケート結果は保護者にフィードバックしている。年一回は同様のアンケートを実施していく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		3		・ホームページ(ブログ)により事業所の活動状況を逐次掲載しているが、昨年受審した東京都第三者評価の結果などは保護者会にて保護者へ配布したが、ホームページへの掲載はしていない。	・「ポコアポコ通信」により、保護者へ取組の様子をお知らせしている。 ・現在、自己評価などを公表するページの増加などを含め、ホームページの形態の変更を考え動いている。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか					・昨年、東京都第三者評価を受けた。受審し客観的に気が付かない所を指摘してもらい業務へ繋げている。今後も定期的な受審を考えている。	・補助金を出していただいた、日の出町へ受審結果を報告済み。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	4			・研修計画に沿って外部研修へ参加。しかし、全職員の参加までは至っていない。	・全職員が外部研修へ参加できるように業務時間の割り振りを検討している。
	9 アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9				・保護者面談を通じ、ご家庭の様子、ご家族の意見をお聞きし意見交換はとても良い機会となっているとともに、計画に反映している。	・年二回の保護者面談(管理者・担当が出席)を実施。保護者と共にPDCAサイクル(目標設定・振り返り)を行っている。
	10 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9				・標準化しているアセスメントツールを使用している。	・年二回の保護者面談(管理者・担当が出席)を実施。保護者と共にPDCAサイクル(目標設定・振り返り)を行っている。標準化しているアセスメントツールを使用している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9				・活動プログラムが固定化しないよう、いつもアイデアを出し合いプログラムを全職員で作りに上げている。	・基本プログラム以外に児童の状況に合わせたプログラム作り、話し合いは必要あるごとに実施し、現場に生かしている。
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているのか	9				・活動プログラムが固定化しないよう、いつもアイデアを出し合いプログラムを全職員で作りに上げている。	・基本プログラム以外に児童の状況に合わせたプログラム作り、話し合いは必要あるごとに実施し、現場に生かしている。	
13 平日・休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	2			・工夫して対応はしているが、長期休暇などは児童と放課後の利用者が重なり、課題設定が大まかになってしまいやすい。	・休日対応日、夏休み、冬休み等の長期休暇時は特別プログラム(一日外出、そうめん流し、プール等)季節に応じたプログラムとしている。	

適切な支援の提供	14	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			・常に気を配っているところ。個別と集団のバランスがととも大事と認識している。	・基本プログラム以外に児童の状況に合わせたプログラム作り、話し合いは必要あることに実施して現場に生かし、その様子を計画に反映している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			・休日対応時、一度に利用児童が集合するときは出来ない事がある。出来るだけ前日に確認をすることを心がけている。	・保護者からの「連絡帳」を基に、口頭伝達を行っている。日々の送迎は予め作成されているため、再度、全員で確認・チェックをしている。
	16	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	7	2		・休日対応時、一度に利用児童が集合するときは出来ない事がある。出来るだけ前日に確認をすることを心がけている。	・帰所後、状況を職員間で伝達・確認している。緊急性のあるものは即時電話連絡をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			・どんな小さなことでもまめに記録は取っている。支援計画作成時にとても助かる。	・日々の個人記録は必ず記入している。それらを基に定期的(年二回の保護者面談前)にモニタリングを必ず実施している。
	18	徹底的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			・前回との比較で変更箇所を赤字で表記し児童の変化を記録している、面談時、赤字部分の確認を保護者と共にしている。	・日々の個人記録を基に定期的(年二回の保護者面談前)にモニタリングを必ず実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	7		・児童が活動プログラムに飽きてしまわぬよう気を付けているが、メンバーの組み合わせで時々制限されてしまうことがある。	・総則の基本活動を複数(バラエティーに富んだ)の組み合わせとまでは行っていない為、今後の課題としたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			・対象児童が関係する他事業所の職員と合うことが互いに忙しく機会がない事もあり、とても良い意見交換の場となっている。	・障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へは管理者・担当が出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9			・学校の公開日、他学校主催の研修会の案内は届く、その他の情報は保護者から入手することが多い。	・学校との情報共有(学校公開日)は学校から直接の知らせは届くが、(年間計画・行事予定)頂くことはない。保護者から頂く状況。学校公開日・学園祭りへ職員参加している。
	22	医療的ケアが必要な子供をうけ入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか			9	・現在医療的ケアが必要な児童は在籍していない。	・以前、看護師一名在籍していたが、退職したため、受け入れの要望は来ているが、受け入れが出来ない状況。今後の検討課題。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9			・児童発達に通所幼児の通う保育園へ職員が訪問し園での様子確認と共に、園からも先生方が来所するなど連携を保っている。学校関係は先生の来所してもらい、意見交換等を行っている。	・障害児相談支援事業所から逐次詳細なデータを貰っている。また、相談員が定期的に現場状況を確認してもらっている。 ・事業所、園の相互訪問など連携を保ち支援にあたっている。
	24	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供等しているか			9	・昨年、一名卒業。事業所での様子、支援計画を保護者から就労先へお渡ししているが、様子確認は保護者から直接の話し合いによる確認はできていない。	・就労先の訪問を検討中。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		9		・月一のペースで地域相談支援事業所の担当者の来訪があり、その折、話し合いを行っている。	・障害児相談支援事業所との連携は密であるが、支援センターとの連携は出来ていない。検討課題。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子供と活動する機会があるか			9	・児童館へ児童を連れ遊びに行くことは多いが、正式な交流は出来ていない。	・出来ていない。検討課題。

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	9			・今年度、日の出町自立支援協議会「こども部会」のメンバーとして参加している。	・定期的な意見交換を行っている。
	28	日頃から子供の状態を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解をもっているか	9			・基本は日々の「連絡帳」「電話」にて情報交換を行っている。また、年二回実施の「保護者面談」時に詳細な事柄を話し合っている。	・全体の様子は保護者会(年一)により行っている。保護者会前に保護者アンケートを行い、結果を公表している。また、年度末の面談時、事業報告書・来年度事業計画を配布している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	2		・ペアレント・トレーニングまで行っていないが、困りごと等、電話又は直接お会いして相談を受けている。	検討課題
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			・今回の保護者アンケートでも丁寧とのご回答を得ている。	・契約時に丁寧に説明をしている。
	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			・随時、受けている。三月は学年切り替えなどあり、比較的多く相談がある。	・困りごと等、電話又は直接お会いして相談を受けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催するなどにより、保護者同士の連携を支援しているか			9	・年一回保護者総会は実施しているが、父母の会は出来ていないので、今年の保護者会時は是非作りたと思っている。	・父母会の発足を保護者会で提案予定。
	33	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			・苦情解決の仕組みを整備している。苦情があった場合は仕組みに沿って解決を図っている。	・苦情の発生時、即座に本部へ連絡する体制が整っている。
	34	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	9			・昨年度「ポコアポコ通信」を配布している。	・「ポコアポコ通信」により、保護者へ取組の様子をお知らせしている。 ・現在、自己評価などを公表するページの増加などを含め、ホームページの形態の変更を考え動いている。
	35	個人情報に十分注意しているか	9			・今回の保護者アンケートにて個人情報管理は満足の回答を得ている。	・今後も、全職員あげて細心の注意を払い個人情報への配慮をしていく。
	36	障がいのある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			・連絡帳・電話連絡が主体となっている。	・基本は日々の「連絡帳」「電話」にて情報交換を行っている。また、年二回実施の「保護者面談」時に詳細な事柄を話し合っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9			・年二回「サマーコンサート」「クリスマスコンサート」で地域住民も招いて開催している。	・夏「サマーコンサート」・冬「クリスマスコンサート」のチラシを地域へ配布。毎年、地域の方々への参加を確認している。
非常	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9			・保護者総会での説明と共に、昨年、全職員救命救急+AED講習受講。	・緊急時マニュアルは事業所備はもとより、事業所壁へマニュアルの掲示など、日頃より職員への周知徹底に努めています。緊急時に関する事柄について保護者の方々へのご説明は今年の保護者会で行いましたが、来年度保護者会にて再度ご説明の機会を作り、機会あるごとに(個別面談)等を通じてご説明させていただきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練をしているか	9			・避難訓練の様子を「ポコアポコ通信」として配布している。	・隔月に実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど	9			・今年度、東京都研修「虐待防止研修」へ管理者が参加している。	・研修参加した管理者中心とする勉強会を考えている。

三 時 等 の 対 応	41	どのような場合にやむお 得ず身体拘束を行うかにつ いて、組織的に決定し、子 供や保護者に事前に十分 に説明し了解を得た上で、 放課後等デイサービス計 画に記載している				9	・利用契約書第3条に「自 傷他害の恐れが窮迫で他 に摂りうる手段がない場 合・・」の文言を明記し説 明している。放課後等デイ サービス計画には現在記 載はない。	・研修参加した管理者中 心とする勉強会を考 えている。
	42	食物アレルギーのある子 供について、医師の指示 書に基づく対応がされて いるか				9	・現在、食物アレルギーを 有する児童一名が通所し ている関係で、掲示物そ の他徹底した配慮がな されている。	・現在、食物アレルギーを 有する児童一名在籍。口 にする食べ物は全て事業 所からの提供は無く「お やつ」「お弁当」は自宅 より持参。緊急時に備え エピペンの使用方法及 び練習用エピペンを配 備して全職員で理解認 識している。更に「注 意する事柄」等を纏めた 紙面を職員室壁に掲 示して注意を払って いる。
	43	ヒヤリハット事例集を作 成して事業所内で共有し ているか				9	全職員でヒヤリハット 事例集を読み合い共有 している。	・ヒヤリハット事例集は 事業所に配備、更に、 各職員へ事例集を配布 し徹底を図っている。

職員セルフチェックリスト

	チェック項目	はい	いいえ
1	利用者への対応。受け答え。挨拶などは丁寧に行う様日々、心がけている。		
2	利用者の人格を尊重し、接し方や呼称に配慮している。		
3	利用者への説明はわかり易い言葉で丁寧に行い、威圧的な態度、命令口調にならないようにしている。		
4	職務上知りえた利用者の個人情報については、慎重な取り扱いに留意している。		
5	利用者の同意を事前に得ることなく、郵便物の開封、所持品の確認、見学者の居室への立ち入り等を行わないようにしている。		
6	利用者の意見、訴えに対し、無視や否定的な態度を取らないようにしている。		
7	利用者を長時間待たせないようにしている。		
8	利用者の嫌がる事を強要する事、また、嫌悪感を抱かせるような支援、訓練を行わないようにしている。		
9	危険回避のための行動上の制限予想される事項については、事前に本人、家族に説明し同意を得ると共に、方法を検討し実施に当たっては複数の職員によるチームアプローチをとっている。		
10	利用者に対するサービス提供に関わる記録書類(ケース書類)について、対応に困難が生じた事柄や不適切と思われる対応をやむ負えず行った場合等の状況も適切に記入している。		
11	ある特定の利用者に対して、ぞんざいな態度・受け答えをしてしまうことがある。		
12	ある特定の職員に対して、ぞんざいな態度・受け答えをしてしまうことがある。		
13	他の職員のサービス提供や利用者への対応について問題があると感じることがある。		
14	上司と日々のサービス提供に関わる相談を含め、コミュニケーションがとりやすい雰囲気である。		
15	職員と日々のサービス提供に関わる相談を含め、コミュニケーションがとりやすい雰囲気である。		
16	他の職員が、利用者に対してあなたが虐待と思われる行為を行っている場面に出くわしたことがある。		
17	他の職員が、利用者に対してあなたが虐待と思われる行為を行っている場면을容認したこと(注意できなかった)ことがある。		
18	最近、特に利用者へのサービス提供に関する悩みを持ち続けている。		



## 体制整備チェックリスト

### 【規定、マニュアルやチェックリスト等の整備】

	項目	はい/できている	いいえ/できていない	改善目標・工夫している点など
1	倫理綱領、行動規範等を定めている。	○		倫理綱領、行動規範等を定めている。新人職員研修ファイルのトップに収め入職時研修時に管理者より説明し理解に努めている。
2	倫理綱領、行動規範等について職員への周知徹底ができている。	○		倫理綱領、行動規範等を定めている。新人職員研修ファイルのトップに収め入職時研修時に管理者より説明し理解に努めている。
3	虐待防止マニュアルやチェックリスト等を作成している	○		虐待防止マニュアルは以前よりより配備していたが、チェックリスト今回の機会を通し利用児(約8割)実施。今後も定期的にも実施していく。
4	虐待防止マニュアルやチェックリスト等について、職員に周知徹底するとともに、活用している。	○		虐待防止マニュアルは以前よりより配備していたが、チェックリスト今回の機会を通し利用児(約9割)実施。今後も定期的にも実施していく。
5	緊急やむを得ない場合の身体拘束の手続き、方法を明確に定め、職員に周知徹底するとともに、活用している。		○	・利用契約書第3条に「自傷他害の恐れが窮迫で他に摂りうる手段がない場合・・」の文言を明記し説明している。放課後等デイサービス計画には現在記載はない。利用児が精神的に不安定時、興奮時に一時的に背後から抱っこ形で安定を待つ行為が身体拘束に当たるか等、今後、検討会議を行い日頃職員が何気に行う行為を精査し文章化、保護者面談時に説明を行うこととする。
6	身体拘束について検討する場を定期的に設けている。		○	・利用契約書第3条に「自傷他害の恐れが窮迫で他に摂りうる手段がない場合・・」の文言を明記し説明している。放課後等デイサービス計画には現在記載はない。利用児が精神的に不安定時、興奮時に一時的に背後から抱っこ形で安定を待つ行為が身体拘束に当たるか等、今後、検討会議を行い日頃職員が何気に行う行為を精査し文章化、保護者面談時に説明を行うこととする。
7	緊急やむを得ない場合の身体拘束について、利用者(家族)に説明を行い、事前に同意を得ている。		○	・利用契約書第3条に「自傷他害の恐れが窮迫で他に摂りうる手段がない場合・・」の文言を明記し説明している。放課後等デイサービス計画には現在記載はない。利用児が精神的に不安定時、興奮時に一時的に背後から抱っこ形で安定を待つ行為が身体拘束に当たるか等、今後、検討会議を行い日頃職員が何気に行う行為を精査し文章化、保護者面談時に説明を行うこととする。
8	個別支援計画を作成し、これに基づく適切な支援を実施している。	○		個別支援計画を作成し、これに基づく適切な支援を実施している。半期毎「個別面談」を実施し成長の確認と報告し今後の課題設定を中心としたと保護者との話し合いを行っている。
9	個別支援計画作成会議は、利用者の参加を得て実施している。		○	個別支援計画を作成し、これに基づく適切な支援を実施している。半期毎「個別面談」を実施し成長の確認と報告し今後の課題設定を中心としたと保護者との話し合いを行っているが、利用児が学校へ行っている時間帯の面談日の設定のため参加はしていない。検討課題としたい。

【職員への意識啓発。研修】

10	職員に対して、虐待の防止に関する研修や学習を実施している。		○	全職員実施とまではっていない。来年度職員個々の状況に応じた「職員研修計画」を策定し定期的に研修参加に努める。虐待防止に関する研修参加を多く取り入れ実施する。
11	日々の支援の質を高めるための知識や技術の向上を目的とした研修を実施している。		○	全職員実施とまではっていない。来年度職員個々の状況に応じた「職員研修計画」を策定し定期的に研修参加に努める。
12	職員の虐待防止に関する知識・関心を高めるための掲示物等を掲示している。	○		職員の虐待防止に関する知識・関心を高めるための掲示物等を掲示している。特に、利用児童及び保護者の目に触れるデイルームに掲示することにより、意識向上に務めている。
13	「職員のチェックリスト」の活用を図り、職員の虐待に対する意識や日々のサービス提供等の状況把握に努めている。		○	「職員チェックリスト」の活用は今回初めて行う。今後も実施月を設定し定期的に実施する。
14	「早期発見チェックリスト」の利用徹底を図るとともに、発見時の報告、対応等について明確にしている。		○	「早期発見チェックリスト」の活用は今回初めて行う。今後も実施月を設定し定期的に実施する。

【外部からのチェック】

15	「福祉サービス第三者評価事業」を活用し、サービスの質の向上等に努めている。		○	日の出町へ昨年より補助金を申請中。今年5月から6月にかけて実施予定。
16	「福祉サービス第三者評価事業」を一定の期間ごとに、継続的に受審している。		○	日の出町へ昨年より補助金を申請中。今年5月から7月にかけて実施予定。
17	虐待防止や権利擁護について継続的に外部の専門家や法人内の他の施設の職員等による評価、チェックを受けている。(第三者評価事業の受審を除く)		○	検討課題。法人内事業所間でのチェックは時折互いの状況確認をしているが、外部専門家による実施は今後の検討課題となる。
18	施設・事業所の事業・監査において虐待防止に関わるチェック等を実施している。		○	検討課題。法人内事業所間でのチェックは時折互いの状況確認をしているが、外部専門家による実施は今後の検討課題となる。
19	ボランティアの受け入れを積極的に行っている。	○		ボランティア及び職場体験を毎年夏休み期間に実施。昨年は3名(高校生)が参加。
20	実習生の受け入れを積極的に行っている。	○		行政(日の出町)担当者へ実習生の受け入れ歓迎の意向は伝えてある。現時点での実習生の受け入れ実績はないが、職場体験を夏休み期間に実施。昨年は3名(高校生)が参加。
21	家族、利用希望者の訪問・見学は随時受けている。	○		家族、利用希望者の訪問・見学は随時受けている。行政、相談支援事業所からの紹介により、月に2~3件の利用希望者の訪問・見学がある。

【苦情・虐待事案への対応等の体制の整備】

22	虐待防止に関する責任者を定めている。	○		虐待防止に関する責任者を管理者が務めている。利用契約書に明記し説明をしている。
23	虐待防止や権利擁護に関する委員会を施設内に設置している。		○	昨年より設置へ向け有識者へ相談中。他事業所の設置例を参考にしたり、来年度中には設置。
24	苦情相談窓口を設置し、利用者等に分かりやすく案内するとともに、苦情解決責任者等を規定等に定め、利用者からの苦情の解決に努めている。	○		新規利用契約時の説明、保護者総会にて毎年説明をしている。
25	苦情相談への対応について、第三者委員を定め、利用者に案内をしている。		○	新規利用契約時の説明、保護者総会にて毎年説明をしている。第三者委員を定めることは出来ていない。人選など検討課題。
26	職員が支援などに関する悩みを相談することのできる相談体制を整えている。	○		日々の悩み事に対する相談は管理者・主任が受け応じている。事案により社長を含むコア職員で緊急の会議を行い解決に当たっている。
27	施設内での虐待防止事案の発生時の対応方法等を具体的に文章化している。	○		職員の虐待防止に関する知識・関心を高めるための掲示物等を掲示している。特に、利用児童及び保護者の目に触れるデイルームに掲示することにより、意識向上に務めている。
28	施設内での虐待防止事案の発生した場合の再発防止策等を具体的に文章化している。	○		職員の虐待防止に関する知識・関心を高めるための掲示物等を掲示している。特に、利用児童及び保護者の目に触れるデイルームに掲示することにより、意識向上に務めている。

【その他】

29	施設において利用者の金銭及び、貴重品を預かっている場合、その管理は複数の職員によるチェック体制のもとになされている。	○		貴重品の預かり事例は現時点までないが、小口現金、月毎回収するおやつ代等の管理は管理者・主任で確認とチェックを行っている。
30	施設は、利用者またはその家族の意見や要望を聴く場を設けている。	○		随時、意見要望及び相談事を受けている。日々の連絡帳が主体となるが、事柄の重要性により電話、面談にて受けている。
31	施設経営者・管理者は、職員の意見や要望を聴く場を設けている。	○		日々の悩み事に対する相談は管理者・主任が受け応じている。事案により社長を含むコア職員で緊急の会議を行い解決に当たっている。
32	施設経営者・管理者は、施設職員同士がコミュニケーションを行う機会の確保に配慮や工夫を行っている。	○		懇親会など費用を施設負担としている。
33	利用者の希望や必要に応じて成年後見制度の利用支援を行っている。		○	現時点まで成年後見制度の利用支援の事例はない。児童を対象としている事も理由として挙げられると思うが、今後、児童が成長し成人となり事業所との関係が継続している場合に支援の必要性が出てくると思われる。

34	希望や必要に応じて成年後見制度の活用等について利用者・家族に説明を行っている。	○		以前、一件だけ説明した事例がある。
35	利用者・家族、一般市民やオンブズマン等からの情報開示にいつでも応じられる準備をしている。	○		情報開示にいつでも応じられる。
36	虐待防止や権利擁護について利用者・家族、関係機関との意見交換の場を設けている。		○	虐待防止や権利擁護にスポットを当てた意見交換の場の設置はないが、今年の保護者総会にて「意見交換の場の設置について」を議題にいれりと共に、地域相談事業所も含めた形での設置を協議していくことを考えている。

### 【地域における虐待の防止、早期発見・対応】

1	障害者(児)やその家族・地域住民等に対し虐待の防止に関する普及・啓発を実施している。		○	虐待防止に関する知識・関心を高めるための掲示物等を掲示している。特に、利用児童及び保護者の目に触れるダイアルームに掲示することにより、意識向上に務めているが、地域住民までには至っていないため、その方法について今後検討していく。
2	家族、地域関係者との連携と情報交換を積極的に行い、虐待の可能性のある事案の観察や早期発見に努めている。		○	虐待防止に関する知識・関心を高めるための掲示物等を掲示している。特に、利用児童及び保護者の目に触れるダイアルームに掲示することにより、意識向上に務めているが、地域住民までには至っていないため、その方法について今後検討していく。
3	地域における虐待防止において、障害福祉サービス事業者(施設)等の事業者間の連携を図っている。		○	虐待防止に関する知識・関心を高めるための掲示物等を掲示している。特に、利用児童及び保護者の目に触れるダイアルームに掲示することにより、意識向上に務めているが、事業者間での連携までには至っていないため、その方法について今後検討していく。
4	地域における虐待防止について、相談支援事業者、地域自立支援協議会等との連携・協力(意見交換も含む)をしている。		○	虐待防止に関する知識・関心を高めるための掲示物等を掲示している。特に、利用児童及び保護者の目に触れるダイアルームに掲示することにより、意識向上に務めているが、事業者間での連携までには至っていないため、その方法について今後検討していく。
5	虐待事案のみならず、福祉サービスの利用等を含め、相談窓口を設置・広報し、地域住民の相談を受けている。		○	虐待防止に関する知識・関心を高めるための掲示物等を掲示している。特に、利用児童及び保護者の目に触れるダイアルームに掲示することにより、意識向上に務めているが、地域住民までには至っていないため、その方法について今後検討していく。
6	地域の障害者が虐待を受けた場合の積極的な受け入れ(市町村からの依頼のあった場合等)を行っている。	○		現在、行政からの依頼により一件DVにより保護家庭となった児童の受け入れを行っている。

7	虐待を受けた障害者・児の受け入れとその支援に関するマニュアル等を一般のマニュアル等とは別に作成している。(虐待を受けた障害者・児への支援)		○	DVにより保護家庭となった児童の受け入れを行ったことにより、「虐待を受けた障害者・児への支援のマニュアル」の必要性を強く感じ現在作成中。
8	虐待事案の疑いがある場合、もしくは、発見した場合の相談事業者や行政機関等への連絡(通報)について手順等が具体的に文章化している。		○	虐待事案の疑いがある場合、もしくは、発見した場合の相談事業者や行政機関等への連絡(通報)について手順等が具体的に示した掲示物等をデイルームに掲示している。
9	虐待事案の疑いがある場合、もしくは、発見した場合に直接訪問する等の対応を行う努力をしている。		○	DVにより保護家庭となった児童の受け入れを行ったことにより、送迎時に家庭状況の確認を同時に行っている。
10	虐待事案の疑いがある場合、もしくは、発見した場合に、施設・事業所として迅速かつ一元的な対応が可能となる体制を事前に定めている。		○	今回の事例を通し、施設・事業所として迅速かつ一元的な対応が可能となる体制は整えつつある状態。